

講義名	日本語資格試験講座　【留学生科目】				授業形態	
担当教員	上仲　淳	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限			
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング

主題と概要
日本語能力試験（N1）合格と同等レベルの日本語能力を養成する。 問題解決のコツとポイントを整理する。 文字読解・聴解・文法・読解の各スキルを網羅する。 授業は対面で行います。

到達目標
日本語能力試験（N1）の合格を目指す。 練習問題を解きつつ、自身の弱点補強とレベルアップができるようになる。

提出課題
ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
テストや課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準
授業参加度（30％）、小テスト3回（30％）、期末前テスト（25％）、期末テスト（15％）

履修にあたっての注意・助言他
出欠は毎回とる。 全授業の1/3以上欠席したものは、試験を受けることができない。 遅刻3回で、1回欠席とする。 15分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業の復習と課題をしっかりとすること。 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書
.使用しない。

参考図書

その他
プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。 <参考文献> 『パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N1』 西岡俊哉ほか　アルク 『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文字読解』ユニコム 『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文法』ユニコム

授業計画
1.オリエンテーション、文字読解 2.文字読解 3.文字読解 4.文字読解 5.聴解　、復習と小テスト（1） 6.聴解 7.聴解 8.文法　、復習と小テスト（2） 9.文法 10.文法 11.文法 12.読解　、復習と小テスト（3） 13.読解 14.読解 15.読解　、総復習と期末試験準備

授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
各資料の予習と復習をしっかりと行うこと。語句の読みや意味調べなどの予習を毎回1時間行ってください。そして、特に復習に力を入れてください（毎回2時間）。関連する練習問題もやってみるといいです（1時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、大学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考